

研究構想図

<学校教育目標>

ともにしあわせを感じる

新堀の教育

- 進んで考え学び合う子
- 心ゆたかで思いやりのある子
- 健康でたくましい子

<国語科の目標>

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

- ・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に扱う力を養う。
- ・日常生活での人の関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言語感覚や国語を尊重して能力の向上を図る態度を養う。

<児童の実態>

- ・文章を読んで理解する力に課題がある。
- ・自分の意見を持ち、表現できる児童が少ない。
- ・自分の意見を伝えることができるが、人の意見を聞いて整理したり比較したりすることが難しい。

<目指す児童像>

- ・主体的に学び、確かな読む力を身に付ける児童。
- ・互いの意見や感想を伝え合い、認め合うことのできる児童。

<令和6年度 研究主題>

児童が主体的に考え、学び合う授業づくり
～確かな読む力を身に付ける指導方法の工夫～

<研究主題設定の理由>

児童の実態として、読む力に課題のある児童が多く、昨年度の研究主題である「読む喜びと学ぶ楽しさ」についても文章を読む力が備わってこそ感じられるものではないかと考えた。また、昨年度の振り返りから、人の意見を聞いて自分の意見を深めることが難しいという課題があったので、人の意見を聞いて学び合う授業についても考えたいと考え、研究主題を設定した。

<研究仮説>

主体的・対話的な学びを取り入れた授業改善を行うことで、児童が主体的に学び、読む力を身に付けることができるようになるのではないかと考えた。

	指導要領の指導条項	目指す児童像
低学年	<ul style="list-style-type: none">・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。・文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	<ul style="list-style-type: none">・読むことが楽しいと思う児童。・自分の考えを持ち、読み合ったり発表し合ったりできる児童。
中学年	<ul style="list-style-type: none">・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くこと。	<ul style="list-style-type: none">・自分の考えを持ち、相手と考えを共有することができる児童。・一人一人の感じ方に違いがあることに気づく児童。
高学年	<ul style="list-style-type: none">・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	<ul style="list-style-type: none">・目的に応じて必要な情報を見付けながら文章を読むことができる児童。・自分の考えをまとめ、共有することで、考えを広げることができる児童。

<研究の視点>

- ① 児童が主体的に学ぶ授業の工夫
- ② 児童が対話的に学ぶ授業の工夫

<日常的な授業での取組>

- ① ICT を活用した意見の共有・伝え合い
- ② 単元のまとめとしての言語活動を意識した授業計画